

## システム標準化に向けた全体を俯瞰した計画表

総務部 情報政策課

## 1. 本市の補助金上限額（令和 6 年 3 月内示）（単位：円）

|          |               |
|----------|---------------|
| 補助上限額（仮） | 1,057,399,000 |
|----------|---------------|

## 2. 歳出：（単位：円）

|        | 令和 5 年度<br>(決算額) | 令和 6 年度     | 令和 7 年度       | 令和 8 年度<br>(債務負担額) | 合計            |
|--------|------------------|-------------|---------------|--------------------|---------------|
| 補助対象経費 | 67,334,300       | 337,103,000 | 1,026,254,000 | 221,562,000        | 1,652,253,300 |

※令和 8 年度に生じる構築期間中のガバメントクラウド利用料は別途、必要となる見込み

## 3. 標準化対象業務（20 業務）の移行完了年度について

## （ア） 令和 7 年度に移行が完了する予定の業務（16 業務）

住民基本台帳、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、固定資産税、国民年金、国民健康保険、健康管理、生活保護、児童手当、児童扶養手当、子ども・子育て支援、就学、戸籍、戸籍の附票、印鑑登録

## （イ） 令和 8 年度以降に移行が完了する予定の業務（4 業務）

選挙人名簿管理、障害者福祉、介護保険、後期高齢者医療

※上記 4 業務は特定移行支援システムとして国に申請済み